

創立50周年事業を終えて

創立50周年事業を終えて

意匠学会会長 藤田 治彦

意匠学会は、創立50周年を迎え、二つの記念事業を行いました。一つは「創立50周年記念大会の開催」、もう一つは「創立50周年記念誌の刊行」です。50周年記念大会は、2009年7月11・12の両日、大阪大学豊中キャンパスを会場に開催されました。創立50周年記念誌は『意匠学会活動記録 1959-2009』と題され、大阪工業大学空間デザイン学科今井研究室を仮の編集室に、約1年をかけて編集されました。50周年記念誌編集委員会編とはいえ、いわばボランティアの努力の成果です。校正の際には多くの会員、とくにベテラン会員の皆さまにご協力いただきました。御礼申し上げます。それ以上に、貴重な時間を編集に費やして下さった今井美樹会員と谷本尚子会員に感謝いたします。事務局が頻繁に移動する学会の記録は失われがちなもの、不明な部分の確認に大変な時間を要しました。とはいえ、調査と校正を重ねたにもか

かわらず、まだ間違い等が残っているかもしれません。もしあるとすれば、私自身を含む校正担当者の責任ですので、お叱りをお待ちしております。それは、また、意匠学会に関する情報の修正の良い機会ですので、早目に本部事務局までお知らせください。

『意匠学会活動記録 1959-2009』は、遅くとも、この会報が巻末に添えられる『デザイン理論』第55号発行までには、会員のみなさまのお手元に届く予定です。表紙には第1号から第54号までの『デザイン理論』のカバーがレイアウトされ、これまでの歴史を実感していただけたと思います。また、『The Japan Society of Design 1959-2009』という英文名も添えられ、最近の掲載論文は、タイトルだけですが、日英両語でリストアップされており、デザイン史デザイン学国際会議参加者など、海外のおもなデザイン関係者にも、この記念誌は贈呈されます。今後、デザイン研究の国際化はますます進むでしょう。意匠学会 JSD の会員であることを共通の話題にできるような国際的学会を目指すとともに、国内における交流の輪を一層広げ、次の50年のための基礎を、会員の皆様とともに、しっかりしたものにしていきたいと考えています。

総会報告

第51回総会（平成21年7月11日、於大阪大学豊中キャンパス）において、平成20年度収支決算、平成21年度予算案（修正）、および平成22年度予算案が提出され、了承されました。

平成20年度 収支決算

（平成21年7月11日承認）

収入の部		支出の部					
前年度よりの繰越金	5,405,499	『デザイン理論』編集費	80,000				
会 員 会 費	2,614,000	『デザイン理論』印刷費	1,103,655				
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">正 会 員</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">8,000×323=2,584,000</td> </tr> <tr> <td>法 人 会 員</td> <td style="text-align: right;">15,000×2=30,000</td> </tr> </table>	正 会 員	8,000×323=2,584,000	法 人 会 員	15,000×2=30,000		大 会 補 助 費	137,162
正 会 員	8,000×323=2,584,000						
法 人 会 員	15,000×2=30,000						
		例 会 費	21,980				
		分 科 会 費	0				
		ホームページ作成・維持費	84,000				
		学 会 等 奨 励 金	0				
		芸 関 連 会 費	15,000				
		事 務 費	1,242				
雑 収 入	121,000	会 報 印 刷 費	0				
利 息	2,282	旅 費	0				
		予 備 費	0				
		学会支援センター委託料	561,422				
		<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">業務委託 手数料</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">313,257</td> </tr> <tr> <td>業務委託 立替金</td> <td style="text-align: right;">248,165</td> </tr> </table>	業務委託 手数料	313,257	業務委託 立替金	248,165	
業務委託 手数料	313,257						
業務委託 立替金	248,165						
		次 期 繰 越 金	6,138,320				
計	8,142,781	総 計	8,142,781				

平成21年度 予算案（当初）

（平成20年7月20日承認）

収入の部		支出の部							
前年度よりの繰越金	5,633,499	『デザイン理論』編集費	80,000						
会 員 会 費	2,718,000	『デザイン理論』印刷費	1,200,000						
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">正 会 員</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">8,000×336=2,688,000</td> </tr> <tr> <td>学 生 会 員</td> <td style="text-align: right;">4,000×0=0</td> </tr> <tr> <td>法 人 会 員</td> <td style="text-align: right;">15,000×2=30,000</td> </tr> </table>	正 会 員	8,000×336=2,688,000	学 生 会 員	4,000×0=0	法 人 会 員	15,000×2=30,000		例 会 費	40,000
正 会 員	8,000×336=2,688,000								
学 生 会 員	4,000×0=0								
法 人 会 員	15,000×2=30,000								
		ホームページ作成・維持費	100,000						
		大 会 補 助 費	150,000						
		分 科 会 費	10,000						
		学 会 賞 等 奨 励 金	100,000						
		創立50周年記念事業費	200,000						
		事 務 費	5,000						
		芸 関 連 会 費	15,000						
		旅 費	0						
		予 備 費	50,000						
雑 収 入	0	学会支援センター委託料	A+B 580,000						
		<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">A 立替実費</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">250,000</td> </tr> <tr> <td>B 委託手数料</td> <td style="text-align: right;">330,000</td> </tr> </table>	A 立替実費	250,000	B 委託手数料	330,000			
A 立替実費	250,000								
B 委託手数料	330,000								
		次 期 繰 越 金	5,816,499						
計	8,351,499	総 計	8,351,499						

平成21年度
予算案（修正）

（平成21年7月11日承認）

収入の部		支出の部							
前年度よりの繰越金	6,138,320	『デザイン理論』編集費	110,000						
会 員 会 費	2,655,000	『デザイン理論』印刷費	1,200,000						
<table border="1"> <tr> <td>正会員</td> <td>8,000×330=2,640,000</td> </tr> <tr> <td>学生会員</td> <td>4,000×0=0</td> </tr> <tr> <td>法人会員</td> <td>15,000×1=15,000</td> </tr> </table>	正会員	8,000×330=2,640,000	学生会員	4,000×0=0	法人会員	15,000×1=15,000		例 会 費	40,000
正会員	8,000×330=2,640,000								
学生会員	4,000×0=0								
法人会員	15,000×1=15,000								
		大 会 補 助 費	150,000						
		ホ ー ム ペ ー ジ 作 成 ・ 維 持 費	100,000						
		分 科 会 費	10,000						
		学 会 賞 等 奨 励 金	200,000						
		創 立 50 周 年 記 念 事 業 費	300,000						
		芸 関 連 会 費	15,000						
		事 務 費	5,000						
		会 報 印 刷 費	0						
		旅 費（日本デザイン学会会長招聘）	30,000						
		予 備 費	50,000						
雑 収 入	0	学 会 支 援 セ ン タ ー 委 託 料	580,000						
		<table border="1"> <tr> <td>業務委託手数料</td> <td>330,000</td> </tr> <tr> <td>業務委託立替金</td> <td>250,000</td> </tr> </table>	業務委託手数料	330,000	業務委託立替金	250,000			
業務委託手数料	330,000								
業務委託立替金	250,000								
		次 期 繰 越 金	6,220,320						
計	8,793,320	総 計	8,793,320						

平成22年度
予算案

（平成21年7月11日承認）

収入の部		支出の部							
前年度よりの繰越金	6,233,320	『デザイン理論』編集費	80,000						
会 員 会 費	2,655,000	『デザイン理論』印刷費	1,200,000						
<table border="1"> <tr> <td>正会員</td> <td>8,000×330=2,640,000</td> </tr> <tr> <td>学生会員</td> <td>4,000×0=0</td> </tr> <tr> <td>法人会員</td> <td>15,000×1=15,000</td> </tr> </table>	正会員	8,000×330=2,640,000	学生会員	4,000×0=0	法人会員	15,000×1=15,000		例 会 費	40,000
正会員	8,000×330=2,640,000								
学生会員	4,000×0=0								
法人会員	15,000×1=15,000								
		大 会 補 助 費	150,000						
		ホ ー ム ペ ー ジ 作 成 ・ 維 持 費	100,000						
		分 科 会 費	10,000						
		学 会 賞 等 奨 励 金	150,000						
		芸 関 連 会 費	15,000						
		事 務 費	5,000						
		会 報 印 刷 費	0						
		旅 費	0						
		予 備 費	50,000						
雑 収 入	0	名 簿 印 刷 費	150,000						
		選 挙 関 連 業 務 費	50,000						
		学 会 支 援 セ ン タ ー 委 託 料	580,000						
		<table border="1"> <tr> <td>業務委託手数料</td> <td>330,000</td> </tr> <tr> <td>業務委託立替金</td> <td>250,000</td> </tr> </table>	業務委託手数料	330,000	業務委託立替金	250,000			
業務委託手数料	330,000								
業務委託立替金	250,000								
		次 期 繰 越 金	6,308,320						
計	8,888,320	総 計	8,888,320						

大会報告

第50回大会は、平成21年7月11日（土）と12日（日）の2日間、大阪大学において開催されました。詳細は以下のとおりです。

第51回意匠学会大会（大阪大学）

— 創立50周年記念大会 —

主 催：意匠学会
共 催：大阪大学 大学教育実践センター・大学院文学研究科・総合学術博物館
会 場：大阪大学豊中キャンパス
会 期：2009年7月11日（土）-12日（日）
総会・研究発表会：
文系総合研究棟401講義室+402講義室
パネル発表懇談会：
21世紀懷徳堂ギャラリー（大学教育実践センター本館「イ号館」内）
見学会：総合学術博物館
（石橋「阪大坂」上り口付近）
懇親会：レストラン「宙（そら）」
（学生交流棟1階）

参加費（会員）：1,000円
参加費（一般）：1,500円
参加費（学生）：500円
懇親会費：4,000円

プログラム

7月11日（土）

10時15分-10時30分：

「昭和12年のモダン都市へ展」概説（総合学術博物館玄関ロビー）および見学

10時30分-11時00分：

映画「大大阪観光」鑑賞（総合学術博物館3階セミナー室）

11時00分-11時20分：

「昭和12年のモダン都市へ展」見学（解説橋爪節也・大阪大学総合学術博物館）

11時40分-12時20分：

パネル発表懇談会（21世紀懷徳堂ギャラリー・大学教育実践センター本館）

12時30分-13時30分：

昼食（レストラン「宙（そら）」+ミュージアム・カフェ「坂（さか）」他）

12時30分-13時30分：

役員会（21世紀懷徳堂ギャラリー和室）

12時30分-：

受付開始（文系総合研究棟4階）

第1セッション（文系総合研究棟4階）

司会：梅宮弘光（神戸大学）

13時50分-14時20分：研究発表(1)

千代章一郎（広島大学）

「ル・コルビュジエの建築環境デザインにおける“壁”」

14時20分-14時50分：研究発表(2)

谷本 尚子（大阪人間科学大学）

「A・ロトチェンコのキオスクと“白の彫刻”について」

14時50分-15時20分：研究発表(3)

鄭昶源（大阪芸術大学）

「W・M・ヴォーリスが韓国で手がけた住宅設計に関する研究」

第2セッション（文系総合研究棟4階）

司会：横川公子（武庫川女子大学）

15時35分-16時05分：研究発表(4)

平光 睦子（神戸芸術工科大学）

「G・ヴァーグナーの工芸および工業論～《工業の方針》を中心に～」

16時05分-16時35分：研究発表(5)

青木 加苗（京都市立芸術大学）

「《バウハウス・ダンス》考察——《トリアディック・バレエ》との比較から」

16時35分-17時05分：研究発表(6)

福元 崇志（大阪大学）

「ヨーゼフ・ボイスの芸術における理念と作品の関係——インスタレーション《ブロック・ボイス》を中心に」

17時10分-17時30分：

総会（文系総合研究棟4階）意匠学会会員

17時30分-17時50分：

意匠学会創立50周年祝賀会（文系総合研

究棟4階)大会参加者
挨拶・祝辞・意匠学会各賞授賞式

18時00分-20時00分:

創立50周年記念懇親会(学生交流棟1階・レストラン「宙」)

7月12日(日)

09時45分-:受付開始(文系総合研究棟4階)

第3セッション(文系総合研究棟4階)

司会:鳥先京一(成安造形大学)

10時15分-10時45分:研究発表(7)

赤阪季与子

「コンピュータ・グラフィックスによる視覚的表現の方法と可能性について」

10時45分-11時15分:研究発表(8)

林承緯(国立台北藝術大学伝統藝術研究所)

「金閨丈夫と民藝」

11時15分-11時45分:研究発表(9)

廣田 孝(京都女子大学)

「百貨店の美術展覧会——英国の催事スタイル導入の可能性を探る」

第4セッション(文系総合研究棟4階)

司会:今井美樹(大阪工業大学)

13時00分-13時30分:研究発表(10)

田島奈都子(姫路市立美術館)

「戦前期日本のデザイン界における大戦ポスターの影響と受容」

13時30分-14時00分:研究発表(11)

竹内 幸絵(神戸大学/株サントリー)

「国策グラフ誌『写真週報』の広告デザイン——戦前期日本における写真広告の黎明——」

14時00分-14時30分:研究発表(12)

垣内 敬造(大阪芸術大学)

「報道技術研究会をめぐる日本の広告デザイナーとそのアイデンティティ——今泉武治の記録を手掛かりに——」

14時45分-17時00分:

50周年記念シンポジウム

テーマ:「都市とデザイン

——国際性と地域性——」

司会:藤田治彦(大阪大学)

パネリスト:

杉本 清

(大阪府産業デザインセンター)

橋爪 節也(大阪大学総合学術博物館)

畑 智子(京都文化博物館)

藤本憲太郎(関東学院大学)

17時10分:閉会

なお、日本デザイン学会青木会長は公務により欠席されたが、予め以下のようなご祝辞を頂いており、総会で披露された。

(青木会長祝辞)

本日は、意匠学会創設50周年記念祝賀会にお招きいただきましたこと、非常に光栄に存じております。あいにく喫緊の所用にて出席がかなわず、非常に心苦しく感じております。書中ではございますが、一言お祝いの言葉を述べさせていただきます。

まず最初に、この半世紀、意匠学会会員の皆様方が数多くの研究成果をあげられ、着実に学会発展にご尽力されてきましたこと、心よりお慶び申し上げます。また、2003年5月23-25日、東京藝術大学で開催された日本デザイン学会50周年記念大会には、来賓として貴学会宮島久雄会長のご出席ならびにご祝辞を賜り、学会員一同、心より感謝申し上げます。

さて、皆様ご承知のように、日本デザイン学会は、デザインに関する学術的研究の進歩発展に寄与することを目的として、1953年に設立されました。当学会と貴学会における過去の交流を繙いてみますと、日本学術会議における芸術学研究連絡委員会の構成団体として共同歩調を取ってきた経緯もあり、両学会に属する会員の方々も多数いらっしゃいます。

個人的な話となって恐縮ですが、学生時代に「意匠」という漢字の由来を習った記憶がございます。それは、「意」とは「心」に浮かんだ内容を感覚である「音」に置き換えること、「匠」とは斧(斤)を用いて箱(匚)を作ること、したがって「意匠」とは、人の心に生起した思

いを、例えば音としての言葉や文字・記号・図といったメディアに転換し、それらに基づいて、道具を介して生活用具を創作し、人びとの心を充足させていく行為を意味している、というものでありました。いうまでもなく、意匠という言葉が有する意味内容は、明治期の思想家である田口卯吉の「意匠とは人心の花なり」を引き合いに出すまでもなく優れて哲学的で奥深く、貴学会藤田治彦会長の50周年を迎えるメッセージにも述べられていますように、漢字文化圏が生んだ意味豊かな言葉であると考えます。

ところで、日本デザイン学会における「デザイン理論」に関する研究は、ミッドセンチュリーにおける黎明期を経て、その後さまざまな展開が試みられています。現在では、多様化・混迷化する時代背景を踏まえてその重要性が再認識され、学会活動における地平を切り開く重要案件のひとつとしてそれまでの部会を改組し、昨年4月に「デザイン理論・方法論研究部会」として活動を開始したところでもあります。意匠学会とデザイン学会、両学会が創設の起源を異にするものであったとしても、学究内容において深いつながりを有していることはまぎれもない事実であります。今後の展開がどのように推移するかは定かではありませんが、意匠学／デザイン学の進展に向けてさらなる連携強化があることを願ってやみません。

最後になりましたが、学会創設半世紀という事実は、それまでの歴史の変遷を俯瞰するにとどまらず、未来感に立脚したビジョンをさまざまな局面から考える格好の機会であると考えます。過去を評価することは現在の問題を明確にすることにつながることで、さらには、過去の評価から出発しないと今後の展開や在りようはその視点を見失う可能性があるともいえます。この意味において、半世紀という時間は極めて重いものがあると考えます。

豊かな歴史観に立脚した貴学会の、今後のますますのご発展を折念して、簡単ではございますがお祝いのご挨拶とさせていただきます。

浦崎 真一 [大阪芸術大学大学院]

研究例会

第199回研究例会

平成21年9月5日(土)
於 京都市立芸術大学

1. リチャード・レッドグレイヴの絵画とデザイン
竹内 有子(大阪工業大学 非常勤講師)
2. 機械の象徴機能
— ジャリ, ピカビア, デュシャンにおける —
平芳 幸浩(京都工芸繊維大学)

第200回研究例会

平成21年11月14日(土)
於 京都女子大学

1. JISによる事務用家具寸法の標準化
北田 聖子(京都市立芸術大学)
2. 日本におけるシェーカーの家具の受容
石川 義宗(東洋美術学校)

第201回研究例会

平成22年2月27日(土)
於 武庫川女子大学

1. 家具の模造品が市場に及ぼす影響
— ジェネリック家具を中心に —
多田羅景太(京都工芸繊維大学)
2. 洋裁文化の形成
— 服飾デザイナーと洋裁教育 —
青木美保子(神戸ファッション造形大学)

第202回研究例会

平成22年5月15日
於 大阪芸術大学 ほたるまちキャンパス

1. 英領期インドのポスター画にみる女神像「バーラト・マーター」の展開
福内 千絵(大阪成蹊大学)

2. 韃靼人図の受容と展開についての一試論
並木 誠士 (京都工芸繊維大学)

一般会務報告

平成21年度第1回役員会 議事録

日時：平成21年5月30日 (土)
13時より

会場：京都女子大学西の喫茶店「ぐるんぱ」

出席者：伊東徹夫、今井美樹、太田喬夫、小宮容一、佐藤敬二、佐藤博一、鈴木佳子、竹内幸絵、谷本尚子、廣田孝、藤田治彦、藪亨、横川公子、渡辺真

[審議事項]

議題1. 平成20年度第7回議事録が、一部訂正の上、承認された。

議題2. 第51回大会について、以下のことが承認された。

1日目

受付は午後からになること。

午前中は、パネル発表、博物館見学が行われること。

午後は、研究発表。

17時から総会、意匠学会創立50周年祝賀会が行われること。

2日目

シンポジウムのテーマは、「都市とデザイン」を予定。

パネリストは、橋爪節也、杉本清、宮島久雄前会長に依頼する。

現在確定している研究発表申込者は次のとおり。1. 赤坂季与子、2. 鄭昶源、3. 垣内敬造、4. 平光睦子、5. 青木加苗、6. 千代章一郎、7. 田島奈都子、8. 福元崇志、9. 林承緯、10. 竹内幸絵、11. 廣田孝、12. 谷本尚子

前回の発表から1年未満の会員が申し込んでいたが、時期をずらすようお願いする。

関東の会員がいないので、発表を打診することが提案された。

現在確定しているパネル発表申込者は次のとおり。1. 小宮容一、2. 川島洋一、3. 赤坂季与子、4. 上羽陽子

パネル発表の追加募集の締切りを6月6日に延期し、再募集を呼びかけること。

この他、大谷大学短、京都芸大、大阪芸大、京都造形大等での役員からの呼びかけをすること。

50周年記念祝賀会が開催されること。

日本デザイン学会から会長の祝辞が寄せられることが報告された。

議題3. 創立50周年記念出版物について、いかに承認された。

進捗状況の報告。

予定の頁割の内容の確認。

(会長と前会長の挨拶、大会の歩み、例会、分科会、デザイン理論)

全体で72ページ、デザイン理論と体裁を同じにすること。

見積もりはこれからであるが、予算は30万円とすること。

資料の収集に時間がかかり、大会に間に合わないこと。

役員会で校正をしながら、発行は2009年12月に間に合わせること。

議題4. 9月例会について、当番校は京都市立芸術大学、日時は(仮)9月5日(土)

申し込み者は、北田聖子(京都市立芸術大学)。しかし、5月例会で発表する予定だった2人を含めて3人の発表の可能性について議論された。

議題5. 2008年度収支決算、2009年度補正予算、2010年度予算案について、以下のように修正された。

創立50周年記念事業費を20万円から30万円に修正する。

デザイン理論編集費を8万円から11万円に修正する。

平成21年度の補正予算に学会賞が二回分必要なので、20万円に変更する(例年は15万

円)。

その他、年会費の確認を12月末に行うことと発表者の推薦者は会費納入を確認することなどが提案された。また、平成22年度予算に、名簿印刷の予算を加えてあるかどうかを支援センターに確認することとなった。

佳子、竹内幸絵、谷本尚子、塚田耕一、並木誠士、廣田孝、藤田治彦、三木順子、藪亨、横川公子、渡辺眞

[審議事項]

議題1. 平成21年度第2回議事録が承認された。

議題6. 学術誌の電子アーカイブ化は、今年度は見送ることとなった。

議題2. 総会資料の確認が行われた。

議題7. 各種委員会報告

編集委員会：『デザイン理論』及び会報についての進捗状況が報告された。

学会賞委員会：作品賞の選考は進んでいることが報告された。学会賞に関する規定の改訂案が提出された。意匠学会作品賞が加えられた。奨励金の額は意匠学会委員会が定めることが確認された。

広報委員会：ホームページは毎週水曜日に更新していることが確認された。

議題3. 9月例会について、9月5日(土)、当番校は京都市立芸術大学、発表者は竹内有子、平芳幸浩と確定した。

議題4. 11月例会について、11月14日(土)(第二候補21日)、当番校は京都女子大学、発表者：北田聖子、石川義宗と確定した。

議題5. 2月例会について、2月27日(土)、当番校は武庫川女子大学と確定した。

議題8. その他

退会届の扱いについては、現状のまま、『デザイン理論』を発行するまでは、前年度分までの会費の納入を持って、退会を認めることが確認された。

今年度の研究例会の当番校について、11月例会は京都女子大学、2月例会は武庫川女子大学と決定した。来年7月の大会の当番校については、決定に至らなかった。

議題6. 研究会の共催について、デザイン史分科会とデザイン史フォーラムとの共催で研究会を開催することが提案され、承認された。案内状は、9月例会案内と一緒に送ることになった。

議題7. 入退会者について、新入会員3名が承認された。

議題8. 第52回大会について、以下のことが承認された。

[報告事項]

報告1. 新公益法人法の対応アンケートについて、報告された。

当番校の第一候補を、関東学院大学(横浜市、関内)とする。金、土なら可能とのことである。日程は7月31日、8月1日、あるいは8月第2週～9月前半とする。

第二候補を、国立民族学博物館、武庫川女子大学とする。

平成21年度第2回役員会 議事録

日時：平成21年7月11日(土)

12時30分より

場所：大阪大学豊中キャンパス 21世紀懐徳堂

[報告事項]

報告1. 公益法人化制度への対応について。

出席者：伊東徹夫、今井美樹、上羽陽子、梅宮弘光、面矢慎介、太田喬夫、小宮容一、佐藤敬二、佐藤博一、島先京一、鈴木

出席された塚田委員が、様子見の感であり、任意団体が財団法人になるには、いったん公益法人の資格を得てから財団法人化しなければ

ばならない点が報告された。

報告2. 意匠学会創立50周年記念出版について、年内に発行される予定であることが報告された。

報告3. 各種委員会報告

編集委員会：『デザイン理論』に9本の投稿があったが、5本掲載の予定であること、55号は4本投稿があること、また投稿規定の改正を検討中であることが報告された。

『会報』は校正中であることが報告された。また、日本デザイン学会からの祝辞を『会報』に掲載するという提案がされ、承認された。

学会賞選考委員会：論文賞は18点の中から選ばれるのに対して、作品賞は、展示の数が少なくとも毎年選考を行う方針が示された。昨年は本日受賞式が行われ、今年の論文賞は11月例会で授賞式を行うことが確認された。

報告4. 日本デザイン学会青木会長からの創立50周年に寄せられた祝辞が紹介された。

平成21年度第3回役員会 議事録

日時：平成21年9月5日（土）

12時15分より

場所：京都市立芸術大学

新研究棟2階共同講義室1

出席者：伊東徹夫、今井美樹、上羽陽子、太田喬夫、要真理、佐藤敬二、佐藤博一、鈴木佳子、谷本尚子、廣田孝、藤田治彦、三木順子、横川公子、藪亨、渡辺眞

[審議事項]

議題1. 平成21年度第2回議事録案が承認された。

議題2. 11月例会について、11月14日（土）、

当番校は京都女子大学、発表者は北田聖子、石川義宗と決定した。

議題3. 2月例会について、2月27日（土）、当番校は武庫川女子大学と決定した。発表者は未定。

議題4. 5月例会について、当番校は大阪芸術大学と決定した。

議題5. 第52回大会について、日程は7月31日（土）、8月1日（日）、当番校は関東学院大学（横浜市、関内）と決定した。

議題6. 学会賞について

1. 意匠学会各賞の英語名について、以下の現時点での案が出された。

The Japan Society of Design Award
(意匠学会賞)

Research Award of the Japan Society of Design
(意匠学会論文賞)

Design Award of the Japan Society of Design
(意匠学会作品賞)

2. 総会での質問「第1回目の学会作品賞（神戸大会）で、学会員への投票が行われたが、結果が公表されていないのはなぜか」について討議された。

昨年度の議事録等を調査することと、どのような形で報告するかについて次回までの課題とすることが確認された。

3. 意匠学会賞委員会から、上羽陽子会員の作品を本年度の作品賞とすることが報告され、承認された。

議題7. 入会希望者および発表希望者が承認された。

議題8. その他

学会誌の添え状について：何も連絡事項が無い場合は省略することが決定された。

部数の増減を誰が管理するのかについて：年度予算決定時に部数の確認を行い、変更はしないことが決定された。

学会賞について：11月例会に論文賞を授与するのは時間的に難しいが、問題がなければそのようにし、問題がおきれば2月例会で表彰することが承認された。また、作品賞と別の日にならないほうがよいのではないかと、11月例会に決定、2月例会で表彰がよいという意見が出された。

[報告事項]

報告1. 各種委員会報告

編集委員会：『デザイン理論』54号のおよび次号の進捗状況が報告された。

広報委員会：web 広報について、各種内容の更新が報告された。

50周年記念出版物のページ校正が回覧された。『会報』等の不足分について、報告され、協力が求められた。

第51回大会の会計報告がなされた。

学会賞の副賞について、賞金ではなく記念品を検討することが提案された。今後の課題とすることとなった。

平成21年度第4回役員会 議事録

日時：平成21年11月14日（土）

12時より

場所：京都女子大学

出席者：伊東徹夫、小宮容一、佐藤敬二、佐藤博一、島崎京一、鈴木佳子、谷本尚子、藤田治彦、三木順子、藪亨、山口良臣、渡辺真

[審議事項]

議題1. 平成21年度第3回議事録案が一部修正の上、承認された。

議事2. 2月例会について、2月27日（土）、当番校は武庫川女子大学と決定した。

発表者が未定のため、エントリーを呼びかけることになった。

議題3. 5月例会について、5月15日（土）を第1候補とし、当番校は大阪芸術大学とする

ことが決定した。発表者は未定である。

議題4. 第52回大会について、当番校は関東学院大学（横浜市）、日程は7月31日（土）・8月1日（日）であることが確認された。

関東学院大学の神野由紀会員に役員をお願いすることが決定した。

議題5. 藝術学関連学会連合委員会2010年度シンポジウム・テーマについて、テーマを提案し、会長にメールで連絡することになった。

議題6. 入会・退会希望者が承認された。

議題7. 2009年度意匠学会論文賞は、奥田晶子「『誰が袖図』屏風制作の一様相

— 小袖モチーフにおける文様表現に関する考察を中心に —」に授与されることが承認された。事務局から、2月の例会で表彰したいので出席を依頼するという連絡することになった。

選考対象には選考役員は外すという申し合わせが確認された。また、若手奨励の重視を選考員で再検討するとの申し合わせがあった。

議題8. その他

1. 『デザイン理論』の表紙を、56号から新しいデザイン担当者に依頼したいとの申し出があり、いくつかの意見が出されたが、編集委員会で相談し、方策を決めることとなった。

2. 学会賞の英語名について、次回決定することを確認した。

[報告事項]

報告1. 各種委員会報告

広報委員会：人材募集の内容がHPにアップされたことが報告された。もう少し積極的に公募の内容をHP上で公開することを確認した。

50周年記念出版：回覧、チェックの依頼があった。訂正の返事が来週になるのであれば、出稿はもう少し先にした方がよい

のではないかという意見が出された。

タイトルについて、『意匠学会50年の記録』、『意匠学会50年史』、『意匠学会学術論題集』、『意匠学会50年のあゆみ』等の案も出たが、『意匠学会活動記録1959年～2009年 ―学会創立50周年記念誌―』に多数が賛成した。英文タイトルもつけることになった。

平成21年度第5回役員会 議事録

日時：平成22年2月27日（土）

11時より

場所：武庫川女子大学 上甲子園キャンパス

出席者：上羽陽子，太田喬夫，要真理子，小宮容一，島先京一，神野由紀，竹内有子，谷本尚子，廣田孝，面屋慎介，藤田治彦，三木順子，藪亨，山口良臣，横川公子

[審議事項]

議題1. 平成21年度第4回役員議事録が一部修正のうえ承認された。

議題2. 入会希望者が承認された。

議題3. 5月例会について，5月15日（土）（会場は12時半～17時まで），当番校は大阪芸術大学ほたるまちキャンパス，発表者とタイトルは，福内千絵「英領期インドのポスター画にみる女神像の展開」，並木誠士「韃靼人図の受容と展開についての一試論」と決定した。

議題4. 9月例会について，当番校候補は京都市芸繊維大学，発表候補者は田村剛，前崎信也と決定した。

議題5. 第52回大会について，以下のことが確定した。

会場：関東学院大学関内メディアセンター

日時：7月31日（土），8月1日（日）

別紙資料に基づきプログラムが説明された。
シンポジウム案「ヨコハマ・デザインを考

える」

参加申し込みはがきを先に郵送する。

パネル発表前日必着。実物あり。パネル発表を午後にしていただく。

発表時間，25分+5分質疑応答。

シンポジウムに神戸の保存地区活動にかかわっている小宮委員が立候補した。

総合司会者：神野会員か藤本会員とする。

開催日と開催地，パネル発表，研究発表などの締め切りを4月30日と決定。HPに掲載する。

学会支援センターから会費納入書と一緒に送付。

発表応募者は，関東学院大学1名，関東の方を3-4名，西村，鈴木，門田（パネリスト？），吉村典子（宮城女子大学），大阪芸術大学1名，京都市芸繊維大学1名，大阪大学1名，京都造形芸術大学1名，武庫川女子大学1名，関西外国語大学1名であることが報告された。

議題6. 選挙と会員名簿について，会員名簿の新規作成及び選挙実施の再確認について議論された。名簿改定の後，選挙を行うこと，名簿と一緒に選挙の内容を送ること，支援センターに名簿作成を委託すること，見積，変更の依頼量が確認された。

掲載事項変更手数料について。通常の変更料金とかぶらないようにすべきだという意見があり了承された。また，会費未納状態の確認が必要であることも確認された。意匠学会の会費未納者数についての質問もあった。

議題7. その他

藝術学関連学会連合2010年度シンポジウム「変容する〈芸術〉生成の「場」」のパネリストの推薦について，1週間以内に藤田会長に直接連絡することとなった。

[報告事項]

1. 各種委員会報告

編集委員会：後2号を梅宮委員が担当する予定だったが，伊集院委員，吉村委員の担

当に変更も考える。53号, 54号, 55号(昨年大会発表)まで梅宮委員が担当, 56号から伊集院会員, 57号梅宮委員, 58号(伊集院委員), 59号(吉村委員)60号(伊集院委員)という案である。新編集委員の伊集院委員, 吉村委員を暫定的に監事にすることが承認された。

会報について, 編集中であるという担当委員からの報告が来ていることが伝えられた。

作品賞等のデータはすでに送付済みであることが報告された。

『デザイン理論』の出版予定は未定。

2. 50周年記念出版について

『デザイン理論』の寄贈先を確認した(国会図書館, 日本デザイン学会など)。

印刷所及び見積もりについての内容が承認された。

3. 提案: 例会発表の発表内容もHPに掲載してはどうか。メールでの連絡の場合, 発表要旨ものせた方が良いのではという提案がなされた。次回の役員会の議題とすることになった。

会報担当連絡先 〒610-1197 京都市立芸術大学美術学部第3研究室群 伊東徹夫 宛 TEL 075-334-2255 FAX 075-334-2255
